

ティファール コードレス スチームアイロン

フリームーブ ミニ

製品番号 FV61*

1820005670-04




目次

安全上のご注意.....	2	ジェットスチームを使うときは.....	17
各部の名前とはたらき.....	8	バーチカルスチームを 使うときは.....	18
ケースの取り外し／取り付け方法.....	9	使い終わったら.....	21
絵表示の見方と温度の関係.....	10	お手入れ.....	23
衣類に表示されている		本体のお手入れ.....	23
取り扱い絵表示.....	10	かけ面のお手入れ.....	23
温度設定目安表.....	10	故障かなと思ったら.....	25
ご使用の前に.....	11	仕様.....	29
使い方.....	13		
スチームアイロンとして 使うときは.....	16		

安全上のご注意

- 本製品は、現在施行されている安全性に関する技術的規則および規格（電磁適合性、低電圧、環境）に準拠しています。
- ご使用の前にこの「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。また、本書はいつでも見られる場所に保管してください。
- ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、ご使用になる皆様や周りの方への危害や損害を未然に防止するためのものです。誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を「警告」「注意」の2つに区分しています。いずれも安全に関する重大な内容ですので、必ず守ってください。

 **警告** 誤った取り扱いをしたときに、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容


 **注意** 誤った取り扱いをしたときに、人が損害を負う可能性及び物的損害が想定される内容

各注意事項には、「注意」「禁止」「強制または指示」を促す絵表示（記号）がついています。



警告

 **電源は、一般家庭用 100V、50-60Hz を使用する**
間違った電圧への接続は、アイロンに損害を与える可能性があり、保証は無効となります。

 **使用中、電源プラグ／電源コードが異常に熱くなるときは、直ちに使用を中止する**
ショートや発火する恐れがあります。

 **修理技術者以外の方は、絶対に分解したり修理・改造は行わない**
発火したり、異常作動してけがをすることがあります。

 **子供だけで使わせたり、乳幼児の手の届くところで使用しない**
やけど・感電・けがをすることがあります。



濡れた手で、電源プラグの抜き差しをしない
感電の恐れがあります。



コンセントについて

- 単独でコンセントを使用する
- 2口コンセントの場合は、片方の差し込み口を空けたままで使用する
- コンセントに差し込む前に、電源プラグを持ってベースから電源コードを完全に引き出す。
- 延長コードを使用する際は、定格 15A のものに単独で使用する
コンセントや電気コードが発熱し、発火することがあります。



電源プラグは根元まで確実に差し込む

差し込みが不完全の場合、感電や発熱による火災の原因になります。
傷んだプラグ、ゆるんだコンセントは使用しないでください。



ハンドルを持ってケースを前後左右に振らない

ハンドルが外れ、ケース・アイロン・ベースが落下する恐れがあります。



電源プラグのほこりなどは定期的に取りのぞく









プラグにほこりなどがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります。プラグを抜き、乾いた布で拭いてください。



本機器は安全に責任を有する人物が本機器の使用について監督または適切な指示を与えないかぎり、身体的、感覚的または精神的に低下している（子供を含む）、および経験または知識を持たない人物による使用をしない
やけど・感電・けがをする恐れがあります。子どもに製品で遊ばせないでください。

安全上のご注意 (続き)

注意

-  コードを収納するときは、電源プラグを持って巻き取る
電源プラグが当たって、けがの原因になります。
-  電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず先端の電源プラグを持って引き抜く
感電・ショート・発火の原因になります。
-  水タンクに給排水する際は電源プラグをコンセントから抜く
-  電源コードが損傷している場合は、危険を回避するために、製造元、サービス代理店、または同資格を持つ修理技術者が交換する
-  電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいとき、通電したりしなかったりするときは、使用しない
感電・ショート・発火の原因になります。
-  電源コードを傷付けたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたりしない。また、重いものを載せたり、挟み込んだりしない
電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。
損傷したコードの修理は弊社修理センターにご連絡ください。
-  本体を水につけたり、水をかけたりしない
-  万が一、本製品を落としてしまったり、明らかな損傷があったり、水漏れしたり、正しく動作しない場合は本製品を使用しない。その際、本製品は分解しない
危険ですので弊社修理センターにご連絡ください。



ジェットスチームボタンを連続して速く押さない
湯滴漏れによるやけどの原因になります。



高温部（本体のかけ面など）には手を触れない
やけどの恐れがあります。
また、使用中あるいは使用直後は、絶対にコードがアイロンかけ面に触れないようにしてください。



ベースにケースをかぶせているときは、電源プラグをコンセントに接続しない
火災・発火の原因になります。



付属品以外のベースやケースを使用しない
火災・発火の原因になります。



アイロンを置くときはベースにセットし、立てて置かない
アイロンを立てて置くと倒れる恐れがあります。



アイロンは平たく安定していて熱に強い場所で使用し、アイロンをベースに置くときはベースを置く面が安定していることを確認する



アイロンがベースに完全に接続されていることを確認してから手を離す



使用時以外は電源プラグをコンセントから抜く。また、電源プラグを差した状態、または電源プラグを抜いてから1時間ほど冷ましていない状態でアイロン本体から離れない
けが・やけど、絶縁劣化による感電・漏電火災の原因になります。




熱いスチームに触れない
やけどの原因になります。




アイロンかけの際は、アイロンを傾けたり、前後にはげしく動かさない
湯滴が出て、やけどの原因になります。

安全上のご注意 (続き)


 アイロンにコードを巻き付けない
ショート・発火することがあります。

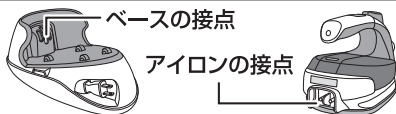
 アイロンの近くで油煙やスプレーなどの可燃性ガスが発生するものを使用しない
火災や故障の原因になります。

 ケースをベースに確実にセットする (運搬時)
アイロン、ベースが落下してけがの原因になります。

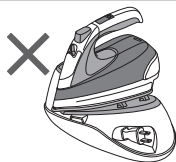
 アイロンをベースに置いたまま給水しない

- こぼれた水が熱いアイロンにかかると、熱湯が飛び散ることがあります。
- 感電やショートして発火の原因になります。


 接点は磨かない
接触不良のもとになります。



 かけ面をベースの面に横向きに置かない
変形・傷の原因となります。



 水をこぼさない
本体下部よりあふれた水が漏れ出ることがあります。(感電の恐れあり)

 湿った衣類 (霧吹きした衣類) は、ドライでアイロンかけをする
湿った衣類にスチームでアイロンかけをすると湯滴が出て、やけどの原因になります。

 本製品には、回収・リサイクルできる材料を使っています。
各地域のごみ収集所に出してください。

- ※ この製品は一般家庭用です。通常のご使用以外の目的に使用したり、業務用として使用するのをおやめください。業務用使用、不適切な使用または使用方法を守らなかった場合に関して、製造者は一切の責任・保証を負いません。
- ※ スチームに触れるとやけどをする可能性があります。アイロン台のすみにアイロンをかけるときは特に注意してください。スチームを人や生き物に向けないでください。アイロンは付属のベースでのみ使用してください。
- ※ 本製品は必ず屋内で使用してください。

お願い

アイロン内部にピンや針金を入れないでください。また、ベースの接点にピンや針金で触れたり、ごみを付着させないでください。

故障の原因になります。



コートや毛足の長い衣類は、かけ面を離してスチームをかけてください。皮革製品などには使用しないでください。

衣類を傷める原因になります。



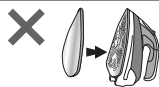
高級品や特殊加工品などには、目立たない所にためしがけをしてください。

特にご注意

ベルベット、アクリル、ナイロン、カシミアなど

市販のかけ面アタッチメントを取りつけて使わない。

誤動作の原因になります。



各部の名前とはたらき

ジェットスチームボタン

ジェットスチームやバーチカルスチームを使うときに押します。

☞ 17 ページ「ジェットスチームを使うときは」



スチーム／ドライ切替レバー

スチームのオン／オフを切り替えます。

☞ 15 ページ

本体

温度設定

かけ面の温度を設定します。

☞ 15 ページ

注水口カバー

水を入れるときに開けます。

☞ 13 ページ

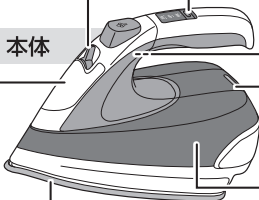
水タンク取り外しボタン

サーモスタットランプ

かけ面の温度が適温になると消灯します。

水タンク

かけ面



ベース

赤マーク

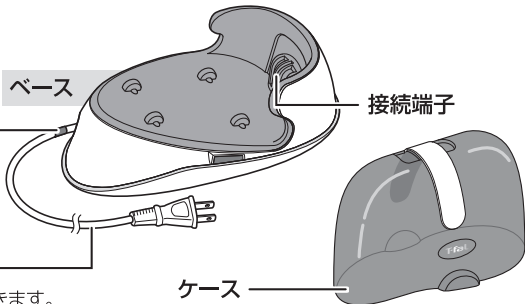
電源コード

ベースに収納できます。使うときは、赤マーク以上は引き出さないでください。

接続端子

ケース

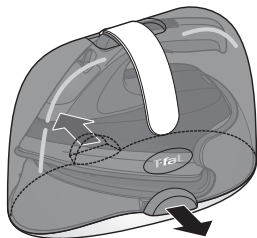
保管するときにかぶせます。アイロンが冷めた状態でお使いください。



ケースの取り外し／取り付け方法

取り外し

テーブルなどに置いた状態で、つまみを外側へ開きながら、ケースを持ち上げます。



取り付け








ケースを傾けずに、右図の向きで上からカチッと音がするまでかぶせます。



絵表示の見方と温度の関係

衣類に表示されている取り扱い絵表示※

(一部参考例)

絵表示				
温度設定位置	アイロンかけはできません。	 高 中 低 切	 高 中 低 切	 高 中 低 切

※ その他「スチーム禁止」「あて布使用」などの表示があれば、その表示に従ってください。

温度設定目安表

(かけ面の温度はドライアイロン使用時の温度)

繊維	温度設定の位置	かけ面の温度※ (目安)
アクリル・アクリル系・ポリウレタン ポリプロピレン	低	約 85 ~ 115℃
絹・毛・ナイロン・レーヨン (長繊維) キュプラ・アセテート・ポリエステル	中	約 125 ~ 155℃
綿・麻・レーヨン (短繊維) ポリノジック	高	約 165 ~ 195℃

※ あくまでも、かけ面中心の平均温度であり、状況により温度は異なります。

アイロンかけは順序よく

アイロンは熱くなりやすく冷めにくいので、アイロンかけは低温に適した布地から高温のものへと順番にかけます。

複数の繊維が混じっている場合、最も熱に弱い繊維に温度をセットしてください。また、熱に弱い繊維にアイロンをかけるときは、ためしがけをしてください。

※アイロンかけの前に衣類を分けておくと効率的です。

ご使用の前に

この取扱説明書をよくお読みください。

ラベル類が貼られている場合はアイロンを加熱する前に、かけ面からラベル類を剥がします。

初めてアイロンをご使用になる際は…

以下の症状が出る場合がありますが、異常ではありません。症状がひどくなる場合は、すぐに電源プラグをコンセントから抜いてお客様相談センターにご連絡ください。

かけ面と本体の間から白っぽい煙が出て多少臭いがすることがありますが、異常ではありません

製造工程中に使われる樹脂に含まれている水分が熱を受けて蒸気となって出てくるため、煙と臭いが発生するものです。

この煙は無害で、また数回ご使用いただくと出なくなります。

ごくまれにスチーム穴から白い粉が出てくる場合がありますが、異常ではありません。

アイロン内蒸気発生タンクには、セラミックの表面加工が施されています。この表面加工の微量の粉がタンク内に残ってしまっているためですので、初期のご使用の際には、10回ほどジェットスチームボタンを押して蒸気を出してからご使用ください。

スチームバルブ機構について

ご使用中、かけ面温度が下がるとスチームバルブが作動し、スチームが止まります。作動時は内部で「カチン」と音がしますが異常ではありません。

アイロン本体を振ったときの「カタカタ音」について

弁などが動く音ですので、異常ではありません。

スチーム穴を詰まりにくくするには

温度設定を「高」に合わせて給電してから、ご不要の布の上で2～3回ジェットスチームボタンを押してください。

スチーム穴に付着した水滴は、乾いた布で拭き取ってください。

ご使用の前に (続き)

アイロンをベースに置いたとき

- 「シューシュー」と音がする場合がありますが、異常ではありません。
- スチーム/ドライ切替レバーは必ず「ドライ」にしてください。「スチーム」になっていると水蒸気や水が出ることがあります。

タンク内部の水滴について

本製品は出荷前にスチーム噴射検査をおこなっているため、水タンク内に水滴が残っている場合がございますが、製品のご使用にはまったく問題ございません。

ご使用にあたっての注意事項

スチームアイロンには、水道水をご使用ください。

スチーム穴の詰まりや布地のシミの原因になることがありますので、リネンウォーターやミネラルウォーター、雨水、エアコンや冷蔵庫など電化製品から出てきた水、その他添加剤を加えた水などは使用しないでください。

のりづけするときやスプレーを使うとき、接着芯地などにアイロンをかけるときは、必ずあて布をしてください。

のりづけ（スプレーのりも含む）、柔軟剤のすすぎ残り、すべりを良くするスプレーなどはかけ面の汚れ（こげつき）だけでなく、大切な布地の汚れにもつながります。そのような場合は必ずあて布をしてアイロンをかけてください。

温度設定は正確にしてください。

10 ページの「絵表示の見方と温度の関係」を参照して、必ず繊維に合った温度設定をしてください。複数の繊維が混じっている場合は、最も熱に弱い繊維に温度をセットしてください。正しい温度設定をしないとかけ面の汚れ（こげつき）や衣類を傷める原因になります。

使い方

1 本体を平たく安定している場所に置きます。

ケースのつまみを外側へ開きながら、ケースを持ち上げます。

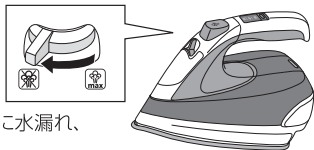



2 水タンクに水を入れます。 (スチームを使う場合のみ)

① 電源プラグがコンセントに接続されていないことを確認します。

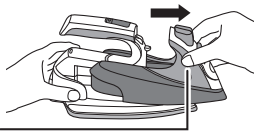
② スチーム／ドライ切替レバー

を  に合わせます。



※  に合わせないと、ご使用中に水漏れ、湯滴漏れする原因になります。

③ アイロンの側面にある白いボタンを押しながら、水タンクを外します。



水タンク取り外しボタン

④ 注水口カバーを開け、水タンクのMAX マークまで水を入れます。

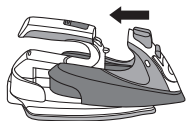
※ 水はMAXより入れすぎないように注意してください。水漏れの原因になります。

※ 電源プラグ、コード、アイロン本体に水がかからないようにご注意ください。



使い方 (続き)

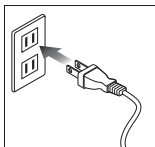
- ⑤ 水タンクの注水口カバーをしっかりと閉め、カチッと音がするまで本体に差し込んで取り付けます。
- ⑥ アイロンをベースにセットします。



! 注意

- 本製品は、水道水を使用して動作するように設計されています。
- 水漏れ、シミ、製品の早期摩耗の原因になることがありますので、衣類乾燥機の水、リネンウォーター、軟水、冷蔵庫・バッテリー・エアコンの水、香水、添加剤を含む水、雨水、煮沸／濾過された水、ミネラルウォーター、これらの水はご使用にならないでください。
- 注水時、ジェットスチームボタンを押さないでください。水漏れ、湯滴漏れの原因になります。

- 3 ベースから電源コードを出し、電源プラグを100Vのコンセントに差し込みます。

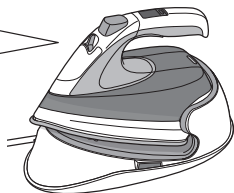
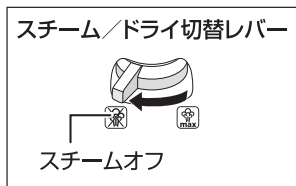


電源コードをベースから引き出します。電源コードは赤マーク以上は引き出さないでください。



4 温度を設定します。

- ① スチーム／ドライ切替レバーが「スチームオフ」の位置にあることを確認します。

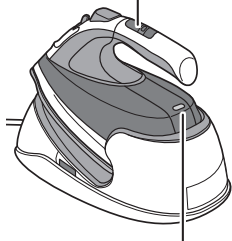


- ② アイロンがベースに正しくセットされていることを確認します。

温度設定

- ③ 温度設定を「低」～「高」に設定します。

10 ページ「絵表示の見方と温度の関係」を参考に設定してください。温度を設定すると、サーモスタットランプが点灯します。



サーモスタットランプ

- 5 サーモスタットランプが消えたら、使用を開始します。

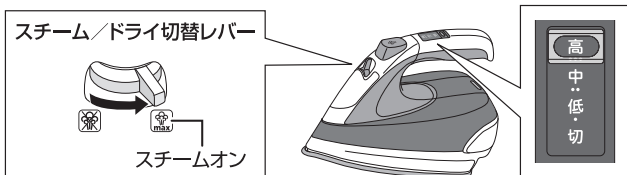


使い方 (続き)

■ スチームアイロンとして使うときは

温度設定は「高」にしてください。

スチーム/ドライ切替レバーは「スチームオン」の位置にします。



！ 注意

- 温度設定が「低」や「中」のときにスチームを使用すると湯漏れの原因になり、やけどの恐れがあります。スチームをお使いになる際は温度設定は「高」にしてください。
- 使用中スチームや、万が一漏れた湯滴でやけどしないように、アイロン台下に体（足や太もも）がこないように注意してください。
- アイロン台によっては、透過したスチームや湯滴でやけどする原因になります。十分に気をつけてください。
- アイロンは立てて置かないでください。倒れる恐れがあります。
- 給電開始直後、サーモスタットランプ点灯中に、ベース上でスチーム/ドライ切替レバーを「スチーム」にしますと、スチーム穴から水またはスチームが出てくる場合がありますので、給電中は必ず「ドライ」の状態にしてください。

- 初めてご使用になるときはアイロンの温度を調節してからスチームが出るまで多少時間がかかることがあります。
- スチームを出すときは、サーモスタットランプが消えていることを確認してください。
- アイロンかけの途中で注水するときはドライに設定してください。また、注水するとかけ面の温度が変わりますので、設定温度まで達してサーモスタットランプが消えてから、アイロンをかけてください。

- かけ面の滑りが悪くなり、スチームの勢いが弱くなってきた場合は、ベースに戻して給電してください。
- 給電中、スチームがオンになっている場合は、スチームが出ることがあります。
- アイロンを衣類にかけていないときは、アイロンをベースに戻してください。かけ面の温度を保ち、冷めるのを防ぐことができます。

■ ジェットスチームを使うときは

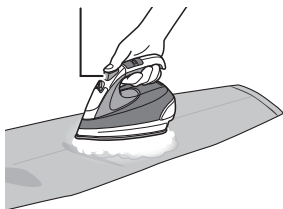
一度にたくさんのスチームを出したいときは、ジェットスチームボタンを押してください。強力なスチームは、がんこなシワ取りに効果があります。

スチーム／ドライ切替レバーを



、温度設定は「高」に合わせてください。

ジェットスチームボタン



- 使用中にスチームの勢いが弱くなってきた場合は、ベースに戻して給電してください。
- 連続使用するときは少なくとも4秒間あけてください。湯滴漏れの原因になります。




注意

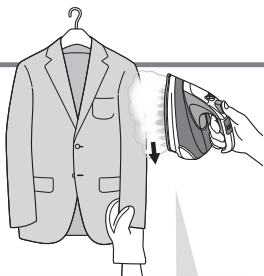
着用したままの服、自分の体や生き物にジェットスチームを使用しないでください。また、アイロン台によっては、透過したスチームや湯滴がやけどの原因になります。十分にご注意ください。

使い方 (続き)

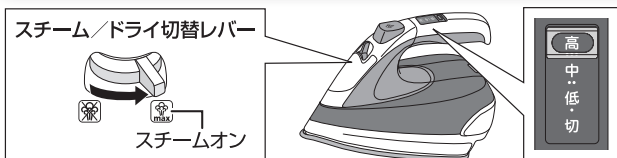
■ パーチカルスチームを使うときは

衣類をハンガーにかけたままシワを取ったり、カーテンのシワを取りたいときに使います。

スチーム/ドライ切替レバーを 、
温度設定は「高」に合わせてください。



衣類をハンガーにかけて、布地のシワ取りをしたい部分を片手でピンと引っ張ります。必ずミトンをご使用ください。
ジェットスチームボタンを繰り返し押しながら、アイロンを上から下に移動させます。



- 使用中にスチームの勢いが弱くなってきた場合は、ベースに戻して給電してください。
- パーチカルスチーム量が減ってきたら、再度パーチカルスチームを使用する前にアイロンをベースに戻してください。湯滴漏れする可能性があります。
- 水量が少ないと出にくくなります。

！ 注意


- 衣類を身につけたまま、アイロンやスチームをかけないでください。やけどの原因になります。
- スチームは非常に高温なので衣類は必ずハンガーにかけてください。

お願い

熱に弱い繊維が焦げるのを防ぐためアイロンを衣類から数センチ離してください。

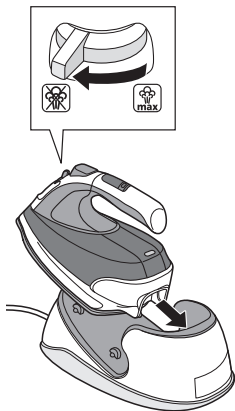


6 アイロンがけしていないときや、スチームの勢いがなくなってきたら、給電します。

- ベースに戻すときはスチーム／ドライ切替レバーを  の位置にセットしてください。

※ スチームがオンになっている場合は、スチームが出る場合があります。

※ 傾けたり、左右に振りながら置くと、接触不良の原因になります。



使い方（続き）

長期間スチームをご使用にならなかったときは…


以下の手順で、スチーム穴と内部に付着したほこりなどを排出してください。

- 1 温度設定を「高」にセットします。
- 2 サーモスタットランプが消えたら、かけ面を下にしてアイロンを浮かし、ジェットスチームボタンを押してスチームを出します。



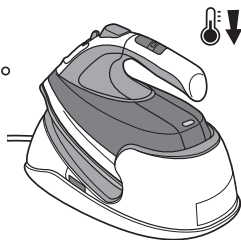
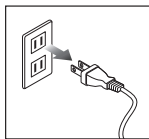
※ 初めてご使用になるときはアイロンの温度を調節してからスチームが出るまで多少時間がかかることがあります。
その場合、ジェットスチームボタンを 10～15 回程押ししてください。

使い終わったら

- 1 温度設定を「切」に、スチーム／ドライ切替レバーを  にセットします。



- 2 電源プラグを抜き、
かけ面が冷めるのを待ちます。



お願い

かけ面は熱くなりませんが、「切」でも通電しているので、使用時以外は電源プラグを抜いてください。

使い終わったら (続き)

3 アイロンのかけ面が冷めたら、 水タンクの水を捨てます。

※ タンクの構造上、完全に水を抜くことはできませんが、少量の水の残留は、製品保管上問題ありません。



注意

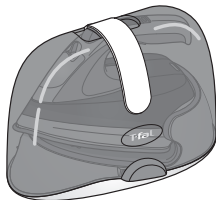
水や水タンクは熱くなっている場合がありますので、ご注意ください。

4 電源コードをベースの内側に完全に収納します。

アイロンが完全に冷えるまで約 1 時間待ちます。

5 アイロンケースをかぶせて ベースにしっかりと固定します。

移動するときや保管するときは、ケースがベースにしっかりと固定されていることを確認してください。



注意

- スチーム/ドライ切替レバーを「☒」にセットしていなかったり、かけ面が冷める前に水を抜こうとすると、湯滴漏れの原因になりますのでご注意ください。
- アイロンが冷めてから、ケースをかぶせて保管してください。

お願い

必ず水タンクから水を捨てて保管してください。水を入れたまま保管すると、水漏れの原因になることがあります。

お手入れ

! 注意 水道水でじかにアイロンを洗わないでください。

お願い

- アイロンの電源プラグを抜き、冷めるのを待ってからお手入れしてください。
- 研磨剤やシンナー、ベンジンは使用しないでください。

本体のお手入れ

やわらかい布で拭いてください。

がんこな汚れには濡らした布に中性洗剤を含ませてこすり、拭き取ってください。



かけ面のお手入れ

汚れが付いたときはすぐに取りってください。そのまま放置すると、汚れが取れにくくなり布地を汚す恐れがあります。

また、汚れが付いていると、かけ面のすべりを悪くします。

かけ面は、ぬるま湯を含ませたナイロンスポンジで定期的に掃除してください。



頑固な汚れには、アイロンが冷めてから、よく濡らしたタオルの上にかけ面を下にして1時間程度置き、汚れをふやかします。その後、かたく絞った布でよく拭き取ってください。それでも汚れが取れない場合は、水を含ませたナイロンスポンジでこすってください。

故障かなと思ったら



状況 アイロンが熱くならない

考えられる原因	対処方法
温度設定の位置が正しくない。	温度設定を「低」～「高」に合わせてください。
きちんと電源プラグが入っていない。	電源コードを完全に引き出してから電源プラグをきちんとコンセントに差し込んでください。
アイロンがベースに正しくセットされていない。	アイロンをベースに正しくセットしてください。

状況 スチームが出ない、または十分ではない

考えられる原因	対処方法
初めて使用する。	初めて使用する場合、スチームが出るまで時間がかかることがあります。
スチーム／ドライ切替レバーが  にセットされている。	スチーム／ドライ切替レバーを  にセットしてください。
水タンクが空になっている。	水タンクをアイロンから外して、水タンクに水を入れてください。
かけ面の温度が低すぎる。	アイロンがベースに正しくセットされていることを確認してください。

状況**水タンクに水を入れ終わったらかけ面から
スチームが出た**

考えられる原因	対処方法
水を入れすぎている。	MAX よりも多く水を入れしないでください。
スチーム／ドライ切替レバーが  にセットされていない。	水タンクに水を入れるときは、スチーム／ドライ切替レバーを  に合わせてください。

状況**水が漏れる**

考えられる原因	対処方法
ジェットスチームボタンの使用回数が 多すぎる。	少なくとも 4 秒間あけてご使用ください。
十分な温度になる前にスチーム、 ジェットスチーム、パーチカルスチ ームを使用した。	サーモスタットランプが消えてからス チーム、ジェットスチーム、パーチカ ルスチームを使用してください。
水タンクに水を入れすぎた。	MAX マーク以上は水を入れなくて ください。
水タンクを空にせず保管した。	21 ページを参考にして、必ず水タ ンクを空にしてから保管してください。
注水口のふたをしっかりと閉めていない。	注水口のふたはしっかりと閉めてください。

故障かなと思ったら (続き)

状況 白い粉がかけ面の穴から出る

考えられる原因	対処方法
セラミックの粉 (11 ページ) か、水道水のミネラル分 (カルキ等) がたまり、排出された。	10 数回ジェットスチームボタンを押して蒸気を出してください。

状況 スチーム穴から茶色の液体が漏れて布地にシミができる

考えられる原因	対処方法
化学物質が含まれている水あか除去剤を使用した。	水道水以外は使用しないでください。水タンク内の水に水あか除去剤を入れないでください。
不適切な水を使用した。	水道水を入れてください。添加剤を含む水は使用しないでください。
繊維が、スチーム穴にたまって焦げてしまう。	湿らせたスポンジでかけ面をきれいにしてください。定期的にスチーム穴をクリーニングしてください。
スチーム穴、またはアイロンの本体とかけ面の間に繊維が堆積し、焦げついてしまっている。	ナイロンスポンジなどで、かけ面の汚れを取り除いてください。それでも改善せず、修理をご希望の場合は、修理センターにご連絡ください。

状況

かけ面が汚れる、または茶色くなり、
布地にシミができる

考えられる原因	対処方法
設定温度が高すぎた。	<ul style="list-style-type: none">● かけ面の汚れを取り除いてください。● 10 ページの「温度設定目安表」を参照し絵表示に従って使用してください。
布地に洗剤やのりが残っている。	<ul style="list-style-type: none">● のりを使用する場合は、あて布をしてください。(12 ページ)● かけ面の汚れを取り除いてください。● アイロンがけの前に洋服をしっかりと洗っていることを確認してください。

※ かけ面のお手入れについては、23 ページを参照してください。

状況

かけ面にキズがついた、または破損した

考えられる原因	対処方法
アイロンをベースに置かずに金属製または凹凸のある台の上に放置、またはジッパーの上に使用した。	<ul style="list-style-type: none">● アイロンは常にベースに置いてください。● ジッパー上の使用は避けてください。
研磨剤や金属パッドでかけ面を清掃した。	<ul style="list-style-type: none">● かけ面の交換や修理が必要な場合は、修理センターにご連絡ください。

故障かなと思ったら (続き)

状況 アイロンが冷たくなってしまふ

考えられる原因	対処方法
アイロンをしばらくベースに置いていない。	アイロンがけ中にアイロンを使用していないとき（衣類を取り替えるときなど）は、ベースに置いてください。

状況 コードリールがコードを巻き取らない


考えられる原因	対処方法
コードがねじれている。	ねじれているコードを伸ばし、軽くコードを引っ張ってください。

仕様

製品名	フリームーブ ミニ
電源	100V 50-60Hz
定格消費電力	1200W
温度ヒューズ	240℃
重量	(本体) 約 860g (本体+ベース) 約 1,545g
コード長さ	約 1.45m
タンク注水量	100mL
サイズ (幅×長さ×高さ) 単位: mm	(本体) 106 × 210 × 134 (本体+ベース) 141 × 256 × 197 (本体+ベース+ケース) 163 × 256 × 209

機能	バーチカルスチーム	●
	ジェットスチーム	●

※ 仕様、デザインは変更になることがありますので、ご了承ください。 **Made in China**

	愛情点検	●長年ご使用のアイロンの点検を!
		<p style="text-align: center;">こんな症状はありませんか</p> <ul style="list-style-type: none">● 電源プラグ・コードに損傷が見られる。● 使用中に電源プラグ・コードが異常に熱くなる。● かけ面や取っ手が異常に熱い。● 電源コードを動かすと通電したりしなかったりする。● 焦げくさいにおいがある。● その他の異常・故障がある。
		<p style="text-align: center;">ご使用中止</p> <p>事故防止のため、使用を中止し、コンセントから電源プラグを抜き、必ずグループセブジャパンお客様相談センターに点検・修理をご相談ください。</p>

株式会社 グループセブ ジャパン

本社：〒107-0062 東京都港区南青山 1-1-1 新青山ビル東館 4F

お客様
相談センター



0570-077772
ナビダイヤル® 受付時間：9:00～18:00(土・日・祝日・弊社休業日を除く)

部品注文
センター



0570-086072
ナビダイヤル® 受付時間：9:00～18:00(土・日・祝日・弊社休業日を除く)

修理センター

- ※ 全国各地より市内通話料金にてご利用いただけます。
- ※ 商品により部品としての取り扱いのないものがございます。